

保護者様

清瀬市立清瀬第十小学校  
校長 鈴木 竜二

## 学校感染症と登校届について

お子様が、医師により下記の学校感染症と診断された場合は、本人の休養と他児童生徒への感染予防のため、学校保健安全法第19条により出席停止（欠席扱いにしない）になります。出席停止の期間中は、御家庭でゆっくり休養させてください。なお、医師により登校の許可が出ましたら、登校届を担任に提出してください。

## 学校で予防すべき感染症及び出席停止の期間の基準

感染症の種類		出席停止の期間の基準
第 二 種	①新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで ※発症から10日間を経過するまでは、マスク着用を推奨されている。
	②インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあつては3日）を経過するまで
	③百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	④麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	⑤流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	⑥風疹（三日ばしか）	発疹が消失するまで
	⑦水痘（水ぼうそう）	すべての発疹が、かさぶたになるまで
	⑧咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	ただし、①～⑧は、学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではない。	
結核	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	
髄膜炎菌性髄膜炎		
第 三 種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス・パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	その他の伝染病	
	溶連菌感染症	適正な治療開始後24時間を経て、全身状態が良ければ登校可
	ウイルス性肝炎	A/E型：肝機能正常化後 B/C型 出席停止不要
	手足口病	発熱・水泡・潰瘍を伴う急性期は出席停止。全身状態が良ければ登校可
	ヘルパンギーナ	全身状態が良ければ登校可
	伝染性紅斑（りんご病）	発疹のみで全身状態が良ければ登校可
	マイコプラズマ感染症	急性期は出席停止。全身状態が良ければ登校可
	帯状疱疹	医師の判断により登校可
感染性胃腸炎	下痢・嘔吐が軽快し、全身状態が改善されれば登校可	

## \*第一種学校感染症

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、急性灰白髄炎（ポリオ）、特定鳥インフルエンザ、中東呼吸器症候群

切り取り不要

登 校 届

年 月 日

清瀬市立清瀬第十小学校  
学校長殿

病名 \_\_\_\_\_

病院名 \_\_\_\_\_

上記の疾病について、 月 日から加療の結果、 月 日から登校させます。

年 組 名前 \_\_\_\_\_

保護者名 \_\_\_\_\_

※保護者が記入し、担任に提出してください。